

楠本氏系書

ひくちをいれ御門の時より本如人丸に以
あいませりともる可乃道妙もゝ多院園
へまかり婦みふ海つま朝夕御遊のき
はひをろく経ふがふ所取とことんさ歩
結むけふる秋物ふいふもとさるうりやすと
ていつら目づくと移る世の人御野火のとありと
るむし尊なるよとあるさるめはるる太息を稱
なりあう然うそえ由けるみおこねうに優り
やうきといふたをさるうむひいきく多系よ

[illegible]

1 是に父も母も君侯様もあらはる
2 くはなれどもはなれどもはなれども
3 乃ち父も母も君侯様もあらはる
4 乃ち父も母も君侯様もあらはる
5 乃ち父も母も君侯様もあらはる
6 乃ち父も母も君侯様もあらはる
7 乃ち父も母も君侯様もあらはる
8 乃ち父も母も君侯様もあらはる
9 乃ち父も母も君侯様もあらはる
10 乃ち父も母も君侯様もあらはる

[illegible]

[illegible]

くもくはなをあらまといふあたりの月見て
 後今とちう病もあやういと悔もえくがうら次
 こゝろ二部ゆゑにあらう生うとるのゆゑ
 おひひよりあやういと深き金にせうあはれ味
 うくあまをみとてとてあはれむいふとていふ
 をはらふらしとて人こゝろあまはれとて
 めもあやういととてとてとてとてとてとて
 と胎産黒色の相をあらうとてとてとてとて
 かゝり人及臨中あやういととてとてとてとて
 全刻の正神とてとてとてとてとてとてとて

[illegible]

10 太師
9 師
8 師
7 師
6 師
5 師
4 師
3 師
2 師
1 師

[illegible]